



ライオンズクラブ国際協会 335-A 地区

第 67 回地区年次大会

決議委員会 委員会現況報告

地区GLTコーディネーター

地区GMTコーディネーター

地区GSTコーディネーター

地区FWTコーディネーター

地区LCIFコーディネーター

地区LCIFキャンペーンコーディネーター

地区会則委員長

地区GLT委員会

地区GMT・FWT委員会

地区GST委員会

地区LCIF委員会

地区MC・IT委員会

地区YCE委員会

地区レオ委員会

地区社会福祉委員会

地区ライオンズクエスト委員会

地区青少年健全育成委員会

地区国際大会・迎接委員会

地区アラート委員会

地区 GLT コーディネーター報告

地区 GLT コーディネーター 辰巳 博昭

コロナ禍で始まった今期です。委員会では、会員の皆様の安全を第1に考えての活動方針で臨みましたが、やはり感染拡大で、思うような活動が出来なかったのが残念です。

公認ガイディングライオンセミナーの実施と、第Ⅷ期ライオンズアカデミーを4回開催予定です。(3回実施済み)

新会員研修会は、当初リジョン毎に開催を計画しましたが、緊急事態宣言で開催出来なくなり、5月にオンラインでの実施を予定しています。

若手交流会を、委員会メンバーの企画で開催しようと思っておりましたが、飲食なしでは、難しいと考え中止を決定しました。やはり、今の状況に応じた方法を考えるべく必要がありますね。

クラブも、例会の開催も普通に行えない状況が続く、オンラインや書面を使った例会を開催していると思います。私達も、もう少し工夫の方法があったかもしれません。

不完全燃焼で、1年を終えるのは、少々残念ではありますが、公認ガイディングライオンセミナーに参加頂いた皆様、またライオンズアカデミーに参加頂いた皆様には、お礼申し上げます。

地区 GMT コーディネーター報告

地区 GMT コーディネーター 藤井 一弘

期首1879名でスタートし2月末現在で29名減の1850名となっております。今期、下副田ガバナーの最重要目標の一つが会員増強ということで、地区会員増強委員会もコロナ禍ではありますが委員会メンバー総力を挙げて取り組んで参りました。

昨年8月

28日の地区FWT委員会との会員増強合同セミナーでは100名を越える参加者を得て、いろんな角度から会員増強の願いをし、9月からのガバナー公式訪問では、各ゾーンの皆様に懇談会、合同例会で直接会員増強お願いをして参りました。また11月からの第2回ガバナー諮問委員会には、地区 GMT 委員会のメンバーで各ゾーンを手分けして、それぞれ増強とクラブ解散回避をお願いし、いよいよ詰めの今年からは個別に各クラブ、特に会員の減り方の大きいクラブを重点に委員会で例会訪問致しました。コロナ禍もあり当委員会からの来訪を断られることもありましたが出来る限り訪問させて戴きました。どちらのクラブも会員増強の意欲はしっかりとお持ちですがコロナ禍で身動きが全く取れないというご意見を最も多くお聞きしました。皆様の大変な状況は重々承知しております。しかしこんな時でも増やしておられるクラブが11クラブあり、ライオンズクラブの人に対する優しさ、そっと寄り添い励ます崇高な人間愛をこれからも怯まず力強く続けて行くためには、会員増強はあらゆる苦難を乗り越えても続けて行かなければならないと思います。またそれが出来るだけの地域社会における圧倒的な信頼、人望を得ておられるのがライオンズの皆様だと思います。今のところ会員減少の最大の要因でありますクラブ解散はお聞きしておりません。クラブ解散だけはなにがなんでも今期は0でお願いしたいと思っております。地区会員増強委員会メンバーもすごい努力をしております。是非今期末には立派なプラスで終わりますよう皆様のご協力心よりお願い申し上げます。

地区 FWT コーディネーター報告

地区 FWT コーディネーター 坂井 一枝

前期、現況報告を致しておりますが3月現在まで纏めて報告いたします。

先ず活動方針を以下の3項目掲げ実施することに致しました。

1. 地区 GMT 委員会、地区 FWT 委員会合同セミナー開催

8月28日(金)地区 GMT・地区 FWT 委員会合同セミナーを開催し104名の参加を頂き

335-B元地区ガバナー・名誉顧問 L川野 浩史他3名の講師に会員増強・クラブ支部結成

について講演をして頂きました。

2. 女性会員増強とクラブ支部結成の推進に取り組む

①女性会員増強について7月期首368名で8月より17名の増員となったが12月末7名減

1月1名の減、コロナ感染禍の影響で期末に減少しています。3月現在377名で期首より9名の増員となります。

②ライオネス・ブリッジ・プログラムが6月30日をもって終了となるので、335-A 地区内の2ライオネスクラブの西淡ライオネスクラブ・尼崎武庫ライオネスクラブに家族会員、クラブ支部結成、移行の説明に訪問致しました。3月には西淡ライオンズクラブ会長と面談し、クラブ強化に繋るよう両クラブで話し合いをして頂き返答待ちの状況です。

4月には尼崎武庫ライオンズクラブに訪問する予定です。

③明石西ライオンズクラブは既に2クラブ支部を結成されていますが、1月にも明石西 SP フレンド支部が結成され、3月24日、例会訪問をさせて頂き地区ガバナー L 下副田弘文のご尽力で結成された明石西 SP フレンド支部会長・幹事が出席され和やかな例会でした。

ヘアドネーション22件提供頂いた L 伊藤の小児がんの子ども達への思いを伺い、感謝の念を深く致しました。

3. 小児がんについて理解を深め、奉仕に繋げる研修会開催

1月に神戸大学小児科准教授の講演と女性リーダー育成の講演でシンポジウムを計画したがコロナウイルス感染第3波拡大のため断念しました。

4. その他

① 子供食堂支援クラブ・クラブ支部予定クラブの訪問が中止や延期状態ですが、6月迄可能な限りクラブ訪問を予定いたしております。

② ヘアドネーション 9クラブ 52件

地区 GST コーディネーター報告

地区 GST コーディネーター 森岡義雄

今期地区 GST 委員会として各クラブの活性化、新たなライオンズクラブの奉仕を目指してスタートしましたが、何分新型コロナウイルスの影響で中々思う様に出来なかったのが現状です。そんな中、何とか各クラブと地域を盛り上げ奉仕とインパクトと知名度の向上を行いたい思いからライオンズデーに併せて一斉清掃アクティビティを企画させていただきました。開催日は10月10日を予定しておりましたが、台風接近の

ため急遽 10月31日に変更しました。またこの奉仕が各クラブの継続的なアクティビティに繋がることを期待してライオンズデーの「のぼり」を全クラブに5枚配布しました。各クラブのご協力により今期の大きなアクティビティが出来たと思っております。

複合GST委員会からMyLion アクティビティ報告100%目標を目指すように言われ、何とか目標に達するようにGST委員会で検討をして参りましたが、事務局がないクラブで高齢者が運営しているクラブは大変厳しいとつくづく感じました。しかし気長く状況を説明し、またご協力をお願いをしながら、キャビネット事務局員、第2副地区ガバナー、ゾーンチェアパーソン、地区レオ委員長と地区GST委員全員のお力添えをいただき、3月11日にMyLion アクティビティ報告100%決定の報告がありました。皆様のご協力のお陰で100%達成することが出来ました。

複合地区GST委員会から、地域社会がどのような奉仕活動を必要としているかを知るためのアンケート調査を行う様に言われておりますが、現在長田交通安全協会会長・介護施設管理者・更生保護士・警察官・長田交通安全協会事務局長・税理士・明石の小学校10校の要望書をいただいております。多くのご意見を参考にして今後のライオンズのアクティビティについて考えていきたいと思っております。

地区 LCIF コーディネーター報告

地区 LCIF コーディネーター 多田 仁三

今期、A地区LCIFの活動は、ガバナー運営方針「LCIF キャンペーン100の目標達成」を掲げ始まりました。「キャンペーン100」は、3年前にライオンズクラブ国際協会設立100年、LCIF設立50年を機に始まり今期が最終年度でした（新型コロナウイルス感染症の影響で1年延長）。

今期のA地区資金獲得目標額は過去2年間と同様の26万ドル。この目標を達成するため、下副田ガバナーのキーワード「根気と努力で為せば成る We Serve」でキャンペーンコーディネーターL堀本、委員長L福田、副委員長L淵上、委員L濱本、L戸村と活動に取り組む計画でしたが、コロナ禍で思うように活動が出来なかったのが現況です。

地区LCIFコーディネーターとしては、9月15日から10月3日までガバナー公式訪問に随行し「目標達成には69クラブ全会員から1人100ドル寄付をいただきますと目標額の約70%達成することになる」ことをお願いしました。

また、現況のコロナ禍、どのクラブも例会やアクティビティに大変苦勞されていることは十分承知のうえで、12月28日付でクラブ会長・幹事・クラブLCIFコーディネーター、1月14日付でゾーン・チェアパーソン各位に「地区LCIF委員会からのお願い（1人100ドル寄付）」をさせていただきました。

2月15日に開催された第3回ゾーン・チェアパーソン会議及びキャビネット会議でも、全クラブ1人100ドル（1月末で1人100ドル（MJF含）達成クラブが20クラブ）寄付をお願いしました。さらに、2月18日付でクラブ会長各位に「LCIF活動状況報告書」のご提出をお願いしたところです。

全クラブ1人100ドル達成と目標額26万ドル達成を目指し、6月末まで委員会メンバー丸となり“お願い！お願い！”を続けますので、皆様のご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。「キャンペーン100」の終わりがLCIF支援の終わりではありません。

せん。持続可能な LCIF を確立するのが、我々ライオンズクラブ国際協会の使命であります。

地区 LCIF キャンペーンコーディネーター現況報告

地区 LCIF キャンペーンコーディネーター 堀本雅也

地区ガバナーL 下福田弘文の施策に、LCIF 目標達成しようと、掲げる中、会員の皆さんにご協力を頂き有難うございました。

キャンペーン 100 が設立され今年で 3 年目に当り、LCIF 委員長 L 福田信也筆頭に、あの手、この手として委員会は頑張りましたが、3 月 15 日時点では目標の、85%しか寄付が集まらず、3 ヶ年連続して目標に達成することが出来ませんことを残念に責任を感じています。参考に、B、C、D 地区は目標を大幅に達成しています。期間も 3 ヶ月強ございます。なんとか達成して A 地区の名誉のためにも、ご協力の程お願いします。

地区会則委員会報告

地区会則委員長 松本 晃一

会則委員会としては、現在のコロナ禍において、なかなか積極的な活動はできておりませんが、地区委員会・クラブ等、あるいはキャビネット事務局からの会則に関する質問や相談に応えることが、主な活動になっております。

第 2 回ガバナー諮問委員会の質問書にて、各クラブの会則や内規の有無について質問をさせていただきました。有りというクラブが 41 クラブ、無しというクラブが 28 クラブとの回答がありました。今後、委員会として特に会則が無いクラブに対し、クラブ会則の作成を検討していただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

今期は、地区の内規や規定等の見直しを検討しておりますが、第 4 回キャビネット会議に、まとめて改正案を上程する予定にしております。

今期も残り少なくなりましたが、今後も、各クラブ・メンバーに会則についてのご理解を深めていただけるよう、努力いたします。

地区 LCIF 委員会報告

地区 LCIF 委員長 福田 信也

今期の LCIF 委員会は、「LCIF キャンペーン 100 の目標達成」につきまして全クラブとメンバーの方々へのご理解を深めるのと共に日頃よりご寄付いただいております皆様への感謝の気持ちを忘れず活動してまいりました。コロナの影響で 12 月に延期されたセミナーも、元地区ガバナー名誉顧問 L 三宮、第 1 副地区ガバナー L 畑山を講師としてお迎えし、例年より多数のご参加、ご関心を頂きました事は、未来へと繋がる重要な成果であったと感じております。

さて、現在各ゾーンチェアパーソンのお力を借り、各クラブへの 1 人 100 ドルのご寄付をお願い致しております。また、LCIF 委員会のメンバー全員で再度のお願いを続けてまいりますので、宜しく願い申し上げます。

「世界最大の奉仕団体」と称されておりますライオンズクラブの誇りを胸に、今少しのご協力が得られます事を確信しております。

地区MC・IT委員会報告

地区MC・IT委員長 中嶋 成光

○ 地区情報誌について

地区情報誌は今期も年4回発刊させていただき、構成から発送まで一貫して委員会で行っております。コロナ禍で地区、クラブの色々な事業や行事が延期や中止になっている中、本当にたくさんのご投稿をいただきありがとうございました。

1号 2020年9月発行では、兵庫県知事との対談、元地区ガバナー・地区役員・クラブ会長の紹介、クラブアクティビティ等について掲載

2号 2020年12月発行では、地区ガバナー公式訪問、第33回国際平和ポスター・コンテスト、ライオンズデー、新会員「ライオンズに入会して」の掲載

3号 2021年3月発行では、地区ガバナー及びゾーン・チェアパーソン「上半期を終えて」、楽しいクラブ例会特集、今期100歳以上の「先輩ライオンに学ぶ」等を掲載

第4号では、年次大会を中心に多彩な内容で最終号を発刊させていただきますので、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

○ 国際平和ポスター・コンテストカレンダーについて

今期で2回目となった国際平和ポスター・コンテストカレンダーは、コロナ禍で参加学校も半数の52校、作品も三分の1の443枚になりましたが、前回より150部多い1350冊のご発注をいただきました。ありがとうございました。

○ 335-A 地区公式LINEについて

今期はじめて335-A地区公式LINEを導入させていただきました。スマホをお持ちの方であれば、日頃から連絡手段としてLINEを使われている方が多いと思います。友達登録をして頂く事で、地区の情報やクラブのアクティビティ、地区ガバナー活動報告、地区ホームページ、地区情報誌等、スマホで簡単に閲覧できます。是非とも友達登録のほどお願い申し上げます。

○ Go to Lionsについて

現在、335複合地区においてライオンズメンバーの経営する飲食店を掲載無料で公開するスマホ用サイト「Go to Lions」を運営しております。

このGo to Lionsは、コロナ禍で影響を受け退会せざるを得ない会員がいる中、ライオンズとして準地区をまたいで少しでも、メンバーを応援することが出来ないかと言うことで企画いたしております。3月上旬に各クラブへ飲食店を営んでおられる方が何店舗あるのかアンケート調査を開始し、3月中旬に対象者にご登録申請をしていただいております。

会員の皆様にはこの趣旨をご理解いただき多くのご登録とご利用をお願い申し上げます。

委員会としてこれからも、地区・クラブの活動情報の発信と、クラブのためになる委員会活動を続けて参りたいと思っておりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

YCE委員会 現況報告

地区YCE委員長 横田 和邦

2020年度は、世界中に拡大した、新型コロナウイルス感染症の影響で、YCEの夏期・冬期の派遣・受入事業は全てキャンセルとなりました。

今後のYCEは、派遣生および受入時のホストファミリーの皆さんの安全が確保されてから、事業を再開する予定です。

今期は、これまでのYCEを振り返り、課題を棚卸して解決策を整理いたしました。

<派遣事業>

335-A地区には派遣生のOB/OG会が無く、帰国後の派遣生の状況を地区委員会で把握できていませんでした。

今期は、LEOクラブ・LEO委員会と連携して、派遣生は帰国後3年間、LEOクラブに所属して、ライオンズの奉仕活動に参加することをルール化し、2018年夏期派遣生1名に神戸セントラルレオクラブに入会していただきました。

これを機に、YCE・LEOの活動が今後ますます活性化することを期待しています。

<受入事業>

これまでホストファミリーの活動や成果は他のライオンズメンバーとあまり共有されていませんでした。

今期は、335複合の4地区で協力して、ホストファミリーの体験談を募集し、一冊の冊子にまとめて発行いたしました。

各クラブに3冊ずつ配布させていただきますので、是非お手に取ってお目通しいただき、ホストファミリーの重要性・喜びを共有していただけたら幸いです。

YCE事業はライオンズクラブの奉仕活動の中でも、とても重要で有意義なアクティビティのひとつです。

事業再開時には、引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

地区レオ委員会報告

地区レオ委員会 委員長 高 龍秀

前期に引き続き今期も新型コロナの影響で各レオクラブは活動に大きな制限がかかっている。

神戸レオクラブが解散し、現在335-A地区は、神戸セントラルレオクラブ、尼崎レオ

クラブ、西宮レオクラブの3クラブになってしまったが、各クラブ例会並びに地区協議会は、感染状況を見ながらオンラインとリアルを組み合わせ毎月開催している。

恒例事業である年末チャリティバザーや児童育成キャンプなどが中止となり、思うようにアクティビティが行えていないが、そんな中でも主だった事業として下記のような活動を行った。

- ・リーダーシップ研修会（9/5）を開催し、レオクラブ新人に対して研修を行った。
- ・地区 YCE 委員会と共同活動に向けてのミーティング。
- ・オセアル ZOOM ミーティング参加（9/11）
- ・今期新たな試みとしてレオ新聞を発行。各ライオンズクラブに配信してレオを知ってもらう。
- ・尼崎レオクラブ 50 周年記念式典 於：都ホテル尼崎（10/18）
- ・三宮地域の清掃活動（2/11）。25 名が参加しライオン誌にも掲載された。
- ・児童育成キャンプの代わりに養護施設の子どもたちに文具寄贈。
- ・SNS を駆使して会員拡大を行った。
- ・神戸セントラルレオクラブが、神戸甲南ライオンズクラブを新規スポンサーとして迎えた。
- ・その他各レオクラブ内でもアクティビティを開催。

その他現在、このコロナ渦だからこそレオ活動を多くの人に広く知ってもらいたいという想いから、PR 動画を作成中。レオメンバーが作詞し、プロの協力のもとオリジナルソングを作曲。そしてプロ監修による本格レコーディングまで行った。自分たちでダンスやメッセージ内容を考えて動画編集も行っている。

完成した動画 4/24 のレオ地区年次大会で発表し、今後 You Tube や SNS などの媒体を通じて発信していく予定である。

地区社会福祉委員会報告

地区社会福祉委員長 岡田 政光

振り返ってみれば、今年次委員会は新型コロナに翻弄されています。委員会活動も 3 回で終わっています。中でも当初計画していた各クラブ訪問での出前事業も途中で停止していますが、やっと春が来て、残り 2 クラブの再開が迫っていますが、第 4 波が始まりかけました。現在委員会事業成果の割合は 50%程度だと思っています。

特に委員会は、「献血出前事業」でスタートを切りながらコロナで中止を重ねて来ました、そんな中書き損じはがき等で「聴導犬助成事業」、最近では皆さんにお願いばかりになります、「盲導犬医療費のクラウドファンディング」をお願いしています。ライオンズ奉仕の一番、労力奉仕活動が出来ず、皆さんにお金等の御無理ばかりで大変申し訳ありませんでした。

今も委員会として一堂に集まり、闊達な話し合いがしたかったのですが。私としては絶対にライオンズメンバーから感染者を出してはいけません！頭の中に常

にありました。この事は自身の事業への考えも同じでした。お客様への感染、その反対、今も最小限度の範囲で効率の良い様に、なるべく現場へは短時間、少人数、手洗い、もちろんマスク着用です。

最初からですが何と云っても、素晴らしい委員会メンバーに恵まれ、特に副委員長にはおんぶにだっこ状態でやって来ました。委員会メンバー各位にはご協力を頂き大変感謝をしています。

この先、委員会が開催出来れば全員集合で、次期のメンバーにタッチしたいと思っています。さらに 335-A ライオンズ各位のご健康とご多幸と事業のご繁栄をお祈りしています。

地区ライオンズクエスト委員会報告

地区ライオンズクエスト委員長 土田 壮太郎

- 1 令和3年3月26日に、335複合地区主催で、ライオンズクエスト紹介及びワークショップ体験ができる研修会を開催する予定です（本稿提出が開催前のため）。この研修会は、各地区のクエスト委員の方をはじめとしつつ、ライオンズクエストにご興味のある方に広くご参加頂けるようにしました。内容としては、現場でも実施を始めているリモートでのワークショップ（zoom利用）を体験して頂き、その経験を今後に生かしたいと委員会としては考えています。既に40人を超える申込みを頂いておりますが、研修会の中ではzoomを利用して数人のグループに分けた活動も予定しています。昨今、コロナの影響は学校生活・子どもたちの心身にも影響を与えているようで、新たな問題点を記した記事もよく見ます。学校の先生方においては、このようなときにこそ人間力が問われます。一度バランスを崩した学級を再度まとめるためのノウハウは、ライオンズクエストプログラムに詰まっています。今回の研修ではこのような内容にも触れる予定です。
- 2 さて、今年度は、ワークショップはコロナの影響をまともに受けてしまいました。中学校・小学校で予定していた夏のワークショップは全て中止になり、さらに現在の学校現場も、コロナ休みのしわ寄せで未だ普段以上に余裕がなくなっています。これに伴い、次期以降のワークショップ開催も、現時点では見込みが立たない状況になっています。性質上、人が集まってコミュニケーションを取りながら行うことで効果の出るプログラムの実施・普及を目指しているところもあり、委員会の活動も大きく制限されましたが、その代わり、リモートや宣伝材料の配布、作成を行っています。徐々に以前の環境を取り戻しているところですので、残りの期間、引き続き次期につなげられるよう、がんばります。

地区青少年健全育成委員会報告

地区青少年健全育成委員長 L 永田 雅章

今年度、委員会を挙げてリードしていく予定であった地区アクティビティでもある神戸まつりでの「薬物乱用防止」アピールのパレードが、昨年につきパレード中止の連絡

があり、断念せざるを得なくなりました。その中で全国的にも運営上、参加人数の問題で中止になっている地区も多い「薬物乱用防止教育認定講師 養成講座」を皆様のご協力とご理解のお蔭で、昨年 11 月 30 日に実施できたことは、大変喜ばしい事でした。改めて委員会を代表しまして感謝申し上げます。

今年度は、地区全体でも「薬物乱用防止教室」自体のアクティビティも当然のことながら実施出来たクラブも少なく、委員会としても十分なサポートが出来なかったと反省しています。

その中であるクラブが、地域の小・中学校にアンケートを実施した所、「薬物乱用防止教室」に留まらず、子ども達が元気になるような講師招待のへの協力等、様々な要望が見られました。

コロナという状況は、今後我々を取り巻く環境や文化も変化させていくかもしれません。継続してきた取り組みに加えて、新たなアクティビティをスタート出来るような情報を次期の委員会に引継いでいけるように、残りの期間を当委員会のメンバーで取り組んで参ります。

地区国際大会・迎接委員会報告

地区国際大会・迎接委員長 中西 学

○2021 年の国際大会は、長引く新型コロナウイルスの影響により、会場へ出向かずにバーチャルで行うことになりました。申込の詳細につきましては、3月5日付で各クラブに大会登録と代議員登録のお願いをしております。

335-C地区より、国際理事候補者としてL永田 賢治が立候補をされておりますので応援のほどよろしく申し上げます。今までの国際大会ですと大会が開催される現地まで足を運ばないと投票または、国際大会の雰囲気を楽しむことができませんでしたが、今回は、日本にいながら参加することができ代議員登録をしていただければ、貴重な一票を投じることができます。是非とも各クラブより1名は大会登録及び代議員登録をお願いします。

地区アラート委員会報告

地区アラート委員長 橋本維久夫

2020年7月下副田キャビネットの開始早々、九州南部を中心に豪雨災害が発生。

下副田ガバナーと協議の上、最も被害の大きかった337E地区7Z（人吉、免田、錦、芦北、水俣LC）に向けてミネラルウォーター1500ケース（36000本）を送付。7月9日に午前9時に現地到着。

同日人吉市災害ボランティアセンターが開設され即刻500ケースをボランティアセンターに7Z内クラブメンバーに運び込んでいただきました。

また、義援金におきましてはクラブ to クラブでの送金をお願いいたしましたところ合計1,710,000円が送金されました。また支援物資の送付もいただきました。

335A 地区内クラブと市町及び社会福祉協議会との災害ボランティア協定

地区内で大規模災害発生時の支援活動についてクラブと所属する市町及び地区社協間

での協定締結をお願いいたしております。

7Cの皆様にはご尽力いただき感謝いたしております。

現在 3R2Z (明石市内7クラブ) と明石市との災害協定が締結され、合わせて明石社協とは災害時のボランティアセンターでの団体登録を済ませております。

3月末現在 1R内3Z と神戸市、4R1Z と丹波篠山市・2Z と丹波市との協定に向けて協議をいただいております。(3月末現在)